

研究報告サービスシステム（メビウス）の概要

企画情報室 伊藤博雅

1. はじめに

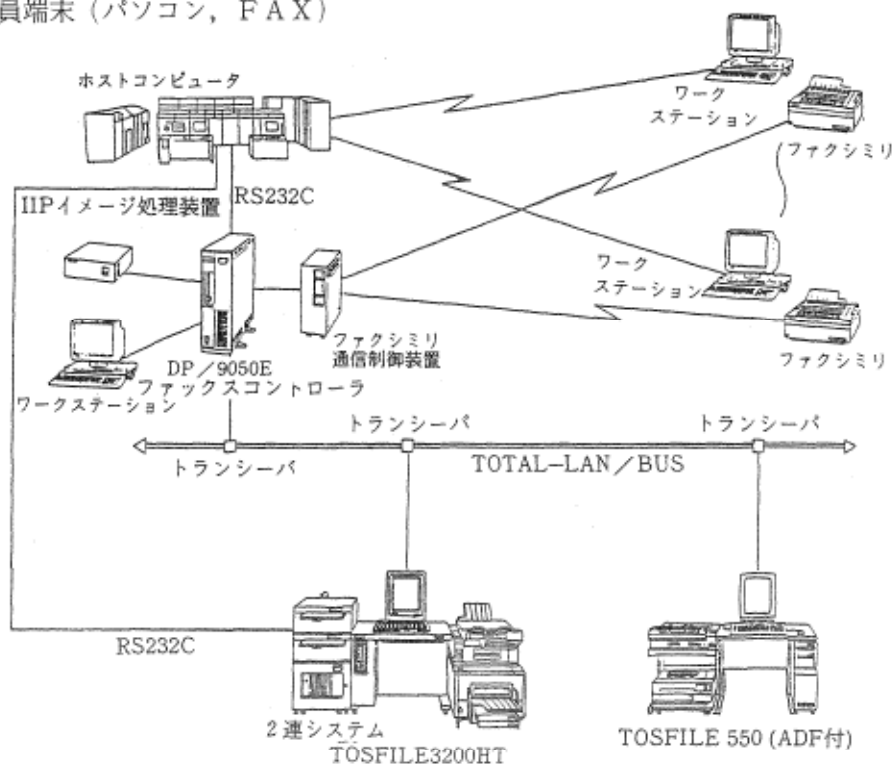
メビウスは、鹿児島県工業技術センターが所有する全国の国立・公設試験研究機関の研究報告を光ディスクファイル装置（電子ファイル）にデータベースとして構築し、企業の人達が電話回線を利用し、データの検索と入手が容易に出来るようにしたシステムである。

2. メビウスの概要

(1) システム構成

メビウスは、次の機器によって構成されている。（図）

- ①ホストコンピュータ（VAX8350）
- ②ファクシミリコントローラ（DP/9050E）
- ③ TOSFile3200HT , TOSFile550
- ④会員端末（パソコン、FAX）



(2) 機能

メビウスのサービスには次の2通りの方法がある。

- ①センター内でのデータベース検索とプリントサービス
- ②会員が外部から直接行うオンライン検索とファクシミリサービス

このシステムの特徴は、電話回線を利用することにより、会員は自社に居ながらにして、全国の国立・公設試験研究機関の研究報告を検索することができることである。

また、ファクシミリにより、その日のうちに、必要な研究報告全文を入手することが可能である。

(3) 検索操作

メビウスはメニュー形式を採用しているので、誰でも簡単に検索が可能である。

操作法は次のとおりである。

- ①システムにログイン（システム名とパスワードの入力）
- ②検索項目の入力（分類分野、機関名、報告年度、書類番号、検索キーワード）
- ③テーマ名表示
- ④テーマ名選定
- ⑤FAX出力要求
- ⑥初期画面
- ⑦終了処理

(4) サービス日および時間帯

- ① 月曜日～木曜日 9：00～16：00
- ② 金曜日（来所者のみ利用可） 9：00～12：00 13：00～16：00

*但し、12月28日～1月4日および法律等により定められた休日を除く。

3. おわりに

メビウスは、中小企業の活性化を情報面から支援するK - BRAIN構想の中での工業技術分野のデータベース化により、県内企業の技術力向上のバックアップを目指すとともに、国分単人テレトピア計画推進の役割も担っている。

今後は、データベースの整備を的確に継続して行くとともに、さらに使いやすいシステムとなるよう研究を進めていく予定である。